

衛星画像・ドローン・AIを活用した流木漂着量把握技術

背景

漁業被害等をもたらす流木の漂着量把握の時間・労力軽減のため、効率化・迅速化の技術開発が求められている。

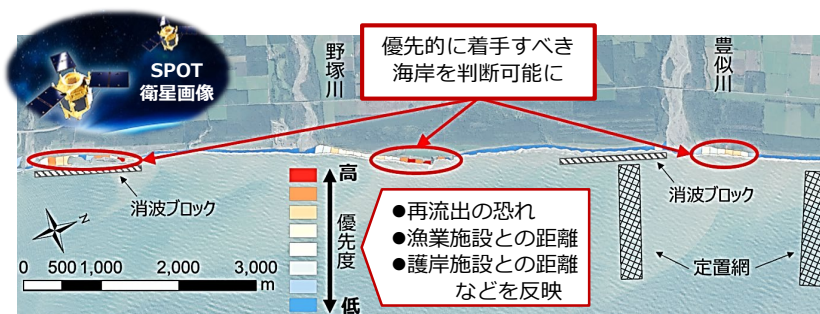


平成28年豪雨災害後の流木漂着状況
(十勝総合振興局撮影)

成果

1 優先度を見える化して効率アップ

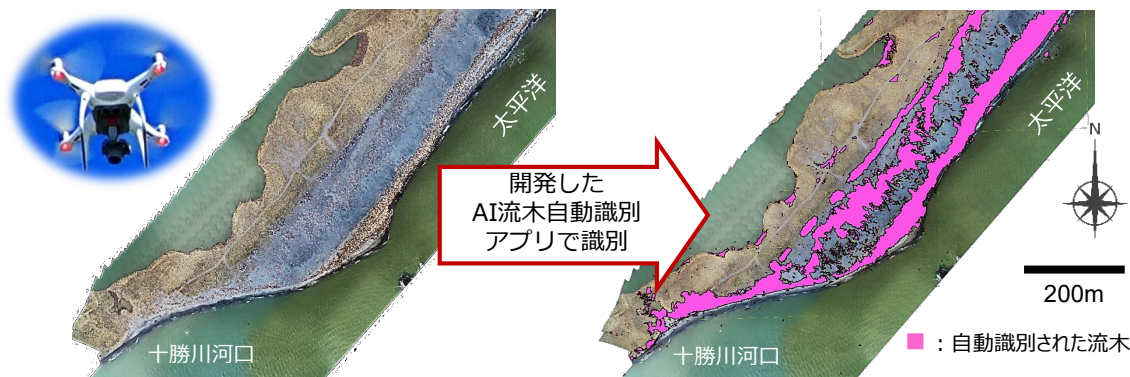
過去の豪雨後の衛星画像で流木漂着状況を見える化し処理を優先すべき海岸を絞込み



処理優先海岸マップの例

2 ドローン&AIで量把握を迅速化

時間・労力を1/3に軽減



ドローンで空撮画像を取得

アプリによる識別&量把握

- ・識別精度：適合率(正しく分類された成績)91%
- ・体積推計精度：±20%以内

期待される効果

衛星画像、ドローン、AIを活用した漂着量把握の効率化・迅速化技術により処理の早期着手につながり、漁業被害等の軽減につながる。